

# 北海道の雪氷対策技術と ふゆトピアを世界に発信

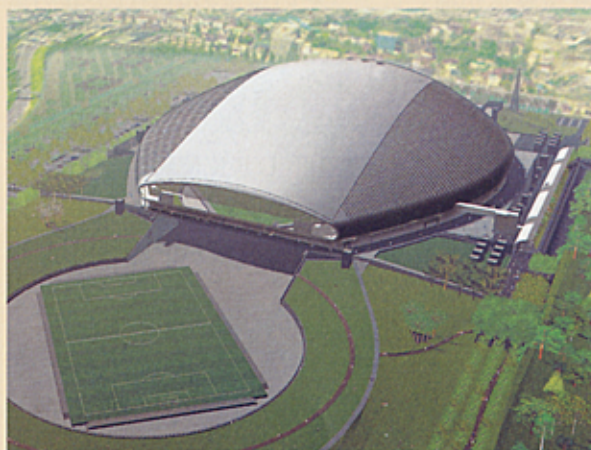
PIARC札幌大会現地実行委員会／  
ふゆトピア・フェア実行委員会 合同事務局

## はじめに

2002（平成14年）1月に札幌ドーム「ひろば」において、「2002PIARC国際冬期道路会議札幌大会」が開催され、併せて「展示会」がふゆトピア・フェアと共同で催される。

北海道は全市町村が豪雪地帯に指定され、一年のうち半年近くが雪と寒さにさらされる厳しい環境にありながら、戦後のめざましい発展により、北の生活文化の創造、雪に強い快適な冬の生活環境づくり、雪国の魅力あるまちづくりを実現し、さらなる克雪・利雪技術の向上を目指している。

人々が暮らしを語る場には必ず道路がある。道路及び道路交通に関して最も権威ある国際フォーラムPIARCの国際冬期道路会議が、世界でもまれにみる積雪が多い大都市札幌で開催される本大会は、世界中から集まった専門家が実際に都市住民が雪を克服し、活用し、利用している様子に接することで、世界の雪国の未来を切り開く大きな一歩となるよう期待されている。



札幌ドーム

## 1. PIARC(世界道路協会)とは

(PIARC/WRA ; Permanent International Association of Road Congress / World Road Association)

世界道路協会 (PIARC) は「道路の新設、改良、維持、利用の改善や世界全体の道路技術・道路交通施策の向上」を目的として1909年に設立された歴史と権威ある国際機関で、世界各国の政府、道路関係団体で組織されている。本部をパリに置き、現在約100カ国が加盟している。

PIARCは世界道路会議と国際冬期道路会議を交互に2年ごと、それぞれでは4年ごとに開催している。

## 2. 2002PIARC 国際冬期道路会議札幌大会

国際冬期道路会議 (IWRC ; International Winter Road Congress) は、PIARCにおける積雪期の道路の維持管理及び交通安全をテーマとした世界会議である。1969年に第1回会議がドイツ・ベルヒストガーデンで開催されて以来、概ね4年ごとにこれまで10回の会議が開催されている。第11回国際冬期道路会議は、1997年にイタリア、トルコを含む候補地から日本札幌市で開催されることが決定した。

日本で開催されることから札幌大会は、次の視点が重要である。

- ① 過去10回の会議が、すべてヨーロッパで開催されており、アジアでは初めて開催されることから、アジア及び環太平洋諸国から多くの参加を得るとともに、今まで以上にグローバルな情報交換の場とする。
- ② 21世紀になって最初に開催される会議であり、20世紀に解決できなかった諸問題について、解決に向けて挑戦する姿勢を明確に示す。
- ③ 札幌をはじめとして、日本の冬は、世界的にみて雪の多いことが特徴。このような気候条件の中で、育まれた日本独特の雪氷対策技術を世界に紹介する。

大会のテーマは、「New Challenges for Winter Road Service (冬期道路サービスに向けた新たな

挑戦)」であり、世界から以下のI～VIのトピックスに関して200編以上の論文概要が提出されている。これまでの論文発表が100編程度であることから、過去最大の活発な大会となることが予想される。

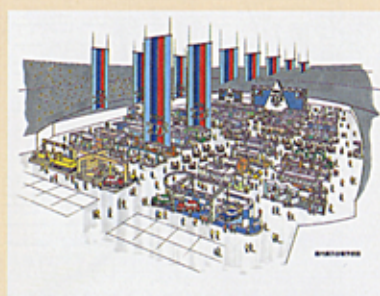
- I 冬期道路管理政策及び戦略
  - (1) 冬期道路管理
  - (2) 冬期道路計画
  - (3) 組織
- II 雪氷マネジメントとコスト
  - (1) サービスレベルと道路ユーザーの責任
  - (2) 手法と作業システム
  - (3) 経済効果とコスト削減
- III 都市部における冬期道路問題と交通安全
  - (1) 市街地における冬期道路問題
  - (2) 交通安全の確保
- IV 環境とエネルギー
  - (1) 環境
  - (2) エネルギー
- V 情報通信技術
  - (1) 気象・路面等情報収集技術
  - (2) 情報通信及び情報提供技術
- VI 雪氷対策技術の開発
  - (1) 機械等技術の開発
  - (2) 雪氷対策のための最新技術
  - (3) 凍結防止剤

### 3. 大会プログラム

- 開催期間  
2002年1月28日(月)～31日(木)
- 行事プログラム
  - ・開会式・歓迎レセプション 1月28日  
(展示会場オープニング)
  - ・閉会式 1月31日
  - ・オープニングセッション 1月29日  
(記念講演)
  - ・研究発表 1月29～31日
  - ・クロージングセッション 1月31日
  - ・展示 1月29～31日
  - ・デモンストレーション 1月29～30日
  - ・テクニカルビジット 1月29～31日
  - ・各種ツアーコース予定
- 開催場所  
札幌ドーム「ひろば」



◀ Bulletin2 (大会概要公式パンフレット)



EXHIBITIN information (展示募集)

### 4. 展示等の募集概要について

展示会への募集を現在鋭意実施中であり、出展の対象は、ふゆの暮らしや道路技術に限らず北海道で研究開発が進められている技術や製品など幅広いものである。また、通常PIARCの展示会は有料であるが、今回はふゆトピア・フェアと共同であるため入場無料となっており、「北海道」を紹介する絶好の機会である。関心のある方は、是非、下記問い合わせ・申込先にご一報いただきたい。(会議参加に関する募集は来年3月開始予定。)

○申込締切日 2001年8月31日

○屋内展示出展料 約40万円  
(W3.0m×D3.0m×H2.5m (9.0㎡))

○問い合わせ・申込先

PIARC札幌大会現地実行委員会/ふゆトピア・フェア実行委員会 合同実行委員会事務局  
TEL. 011-271-3028 FAX. 011-271-5115

(実行委員会構成団体；北海道開発局、北海道、札幌市、日本道路公団北海道支社、(社)雪センター、(財)北海道道路管理技術センター、(社)北海道開発技術センター、(社)日本建設機械化協会北海道支部)

### 5. おわりに

北海道は戦後の短期間に世界が驚くスピードで、未開の大地から魅力的な自然と人が共生する空間に発展した。道路のユーザーは、でこぼこの砂利道に苦しみ、冬は馬糞に頼らざるを得ない時代から、今では路面画像や通行止めなどの情報をリアルタイムで携帯電話で見られる…そんな時代である。

しかしながら、依然、広域分散社会を形成し、かつ道路交通に依存している状況にあり、吹雪による視程障害や雪崩の発生、路面の凍結、幅員の減少など生活環境が著しく低下することから、生活や暮らしを守り、経済活動を維持していくために、道路交通や歩行空間などの道路サービスの確保が最重要のテーマである。

また、個人や企業のニーズに応え、情報等を暮らしにさらにどう活かすかということは、日本の抱えている大きな課題である。

本大会の実行委員会では、多くの方々が会議に参加し、多くの方々が展示会場を活用・来場し、最新の情報や技術を交換し合う最良の場となるよう鋭意準備を進めているところである。一人でも多くの方に参加していただくことを期待して止まない。(文責：北海道開発局道路計画課開発専門官 和田 忠幸)